

第 編 コード表

- 第 編 目 次 -

1 . コード表一覧	- 1
2 . コード表	- 8

1 . コード表一覧

項番	コード名称	コード INDEX	備 考
1	600社コード	C0820	
2	IPC記事	B0150	C0120, C0130, C0140, C0150
3	宛先種別	C0720	
4	異議決定の種別(審査)	C0410	
5	異議決定の種別(審判)	C0620	
6	意匠色彩の有無	C0270	
7	意匠分類記事	B0160	
8	引用文献記事	A0040	
9	引用種別	C1010	
10	引用文献データ種別	C0340	
11	引用文献番号	B0270	B0280, B0290, B0300
12	引用文献番号(外国特許文献)	B0290	C0050
13	引用文献番号(国内特許文献)	B0280	
14	引用文献番号(非特許文献)	B0300	
15	引用文献分類	C1020	
16	ウィーン分類	B0230	
17	閲覧禁止	C0730	
18	閲覧禁止フラグ	C1180	
19	延長・無効の期間	B0140	
20	音響商標フラグ	C1200	
21	外国語出願フラグ	C0310	
22	解任マーク	C0510	
23	確定種別	C0650	
24	官庁関係識別	C0770	
25	関連意匠フラグ	C1150	
26	関連種別	C0025	
27	関連事件種別	C0480	
28	関連事件の併合の有無	C0490	

項番	コード名称	コード INDEX	備 考
29	行服番号	B 0 1 0 0	
30	国県コード	C 0 0 5 0	
31	組物フラグ	C 1 1 3 0	
32	決定分類	B 0 1 8 0	C 0 0 1 0 , C 0 4 6 0 , C 0 5 7 0 ~ C 0 6 1 0
33	結論コード	C 0 6 0 0	
34	検索 I P C 記事	B 0 1 7 0	C 0 1 4 0 , C 0 1 5 0
35	検索用商標記事	A 0 0 8 0	
36	権利譲渡・実施許諾	C 0 3 8 0	
37	権利不要求	C 0 9 5 0	
38	公害防止関連技術マーク	C 0 3 9 0	
39	公序良俗	C 0 2 5 0	
40	公表・再公表記事	A 0 0 1 0	
41	国際公開番号	B 0 0 3 0	C 0 0 5 0
42	国際出願番号	B 0 0 2 0	C 0 0 5 0
43	国際登録番号	B 0 2 2 0	
44	国際登録番号更新回数記号	C 1 1 6 0	
45	個法官別コード	C 0 0 7 0	
46	最終処分コード(商標情報公開)	C 0 9 8 0	
47	査定種別	C 0 3 5 0	
48	参加申請最終処分種別	C 0 6 4 0	
49	参加態様	C 0 6 3 0	
50	識別記号	C 0 1 4 0	
51	指定国属性	C 0 2 2 0	
52	出願種別	C 0 0 2 0	
53	出願種別、関連種別	B 0 3 1 0	C 0 0 2 0 , C 0 0 2 5
54	出願種別・団体商標マーク	C 0 9 4 0	
55	出願種別・分割マーク	C 0 9 0 0	
56	出願種別・変更マーク	C 0 9 2 0	
57	出願種別・防護マーク	C 0 8 9 0	

項番	コード名称	コード INDEX	備 考
58	出願種別・補正却下マーク	C 0 9 1 0	
59	出願種別・優先権マーク	C 0 9 3 0	
60	出願人・代理人記事	A 0 0 3 0	
61	出願人・代理人区分	C 1 1 7 0	
62	出願人・代理人コード	B 0 0 7 0	B 0 1 9 0 , C 0 8 2 0 , C 0 8 3 0
63	出願番号	B 0 0 1 0	
64	出訴事件番号	B 0 1 3 0	
65	出訴種別	C 0 6 6 0	
66	出訴上告区分	C 0 6 7 0	
67	出訴番号	B 0 1 1 0	
68	主任マーク	C 0 5 0 0	
69	条項コード	C 0 2 3 0	
70	商標更新類変更の有無	C 0 7 4 0	
71	商標色彩の有無	C 0 2 8 0	
72	商標法3条2項	C 0 2 9 0	
73	商標法5条4項	C 0 3 0 0	
74	商標法9条1項	C 1 2 1 0	
75	商標名記事	A 0 0 7 0	
76	商品区分の類	C 0 2 0 0	
77	条文コード(引用文献)	C 0 5 5 0	
78	条文コード(拒絶理由)	C 0 7 1 0	
79	条文コード(マドプロ)	C 1 2 9 0	
80	所属民事部	C 0 6 8 0	
81	資料型	C 1 2 4 0	
82	指令完フラグ	C 0 4 3 0	
83	審決結果	C 0 7 0 0	
84	審査官・審判官種別	C 0 1 0 0	
85	審査官コード(マドプロ)	C 1 3 0 0	
86	審査最終処分種別コード	C 0 3 6 0	

項番	コード名称	コード INDEX	備 考
87	審査最終処分種別コード(マドプロ)	C 1 2 6 0	
88	審査種別	C 0 3 7 0	
89	審査法3条2項記事	C 1 3 2 0	
90	審判最終処分種別コード	C 0 4 7 0	
91	審判最終処分種別コード(マドプロ)	C 1 3 5 0	
92	審判種別	C 0 4 6 0	
93	審判法5条4項記事	C 1 3 3 0	
94	審級コード	C 0 5 8 0	
95	審級等の種別	C 0 4 5 0	
96	審判番号	B 0 1 2 0	
97	審理経過種別	C 0 5 3 0	
98	図形識別	C 0 9 6 0	
99	図形ターム	B 0 2 1 0	
100	正誤識別	C 0 2 1 0	
101	整理標準化マドプロ管理番号	B 0 2 5 0	
102	早期審査マーク	C 0 2 4 0	
103	早期審査区分	C 1 3 4 0	
104	早期審理マーク	C 0 5 2 0	
105	訴訟コード	C 0 4 0 0	
106	訟務コード	C 0 6 1 0	
107	ターム	C 0 1 7 0	
108	対応マーク	C 0 8 7 0	
109	代替パターン	C 1 3 6 0	
110	代表文献番号	B 0 2 6 0	
111	代理人コード	C 0 8 3 0	
112	代理人資格コード	C 0 0 9 0	
113	代理人種別コード	C 0 0 8 0	
114	団体・証明・保証フラグ	C 1 1 9 0	
115	団体商標登録の有無	C 0 7 6 0	

項番	コード名称	コード INDEX	備 考
116	中間記録	A 0 0 5 0	C 0 8 4 0 , C 0 8 5 0 , C 0 8 6 0 , C 0 8 7 0
117	中間コード	B 0 0 9 0	C 0 8 4 0 , C 0 8 5 0 , C 0 8 6 0
118	中間コード(審査)	C 0 8 4 0	
119	中間コード(審判)	C 0 8 5 0	
120	中間コード(登録)	C 0 8 6 0	
121	中間コード(マドプロ出願)	C 1 2 8 0	
122	中間コード(マドプロ原簿)	C 1 3 8 0	
123	超過フラグ	C 1 1 0 0	
124	重複登録フラグ	C 0 8 8 0	
125	テーマコード	C 0 1 6 0	
126	適用法	C 0 5 7 0	
127	登録番号	B 0 0 4 0	
128	登録最終処分コード	C 1 2 7 0	
129	特徴記載フラグ	C 1 1 4 0	
130	特記事項	X 0 0 1 0	
131	取消及び廃棄識別	C 1 2 5 0	
132	年金補充の有無	C 0 7 9 0	
133	年月日フラグ	C 1 0 3 0	
134	発行区分	C 0 0 3 0	
135	原出願記事	A 0 0 2 0	C 0 0 2 0 , C 0 0 6 0
136	判決結論コード	C 1 2 3 0	
137	判決種別	C 0 6 9 0	
138	判決分類	B 0 2 4 0	C 0 0 1 0 , C 0 4 6 0 , C 0 5 7 0 ~ C 0 6 1 0
139	番号種別コード	C 0 0 6 0	
140	版コード	C 0 1 2 0	
141	版コード(商標)	C 0 9 7 0	
142	判示事項	C 0 5 9 0	
143	微生物受託機関・受託番号	B 0 0 8 0	
144	標準文字商標の有無	C 0 3 2 0	

項番	コード名称	コード INDEX	備 考
145	標準文字宣言フラグ	C 1 2 2 0	
146	付加コード	C 0 1 8 0	
147	部分意匠フラグ	C 1 1 2 0	
148	分割番号	B 0 0 5 0	
149	分割フラグ	C 0 9 9 0	
150	分冊識別記号	C 0 1 5 0	
151	分類識別	C 0 1 3 0	
152	併合審理の有無	C 0 5 4 0	
153	閉鎖原簿移記の有無	C 0 8 0 0	
154	法区分	C 0 1 9 0	
155	防護更新類変更の有無	C 0 7 5 0	
156	方式完マーク	C 0 4 2 0	
157	本権利抹消識別	C 0 7 8 0	
158	本権利抹消識別（マドプロ原簿）	C 1 3 7 0	
159	抹消フラグ	C 1 0 0 0	
160	申立に係る請求項・区分記事	A 0 0 6 0	
161	優先権主張番号	B 0 0 6 0	
162	優先権認定フラグ	C 1 3 1 0	
163	優先審理の有無	C 0 5 6 0	
164	猶予・軽減等識別	C 0 8 1 0	
165	要約不備職権訂正	C 0 2 6 0	
166	予備審査マーク	C 0 0 4 0	
167	四法	C 0 0 1 0	
168	立体商標の有無	C 0 3 3 0	
169	立体標章フラグ	C 1 3 9 0	
170	料金種別	C 0 4 4 0	
171	類似群コード	B 0 2 0 0	
172	レコード状態識別	C 1 1 1 0	

2 . コード表

整理標準化 データ コード表	特殊記事説明表	コード INDEX	X 0 0 1 0	VER	4 . 0
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

データ項目一覧表に関する特記事項について、以下に記す

01 査定発送日

最終処分がなされた場合、査定発送日には、最終処分日が設定される。

02 商標更新登録記事

当記事の繰り返しの内、出願番号が平成10年以降の50万番台及び60万番台のものは「書換申請情報」である。

03 防護標章更新登録記事

当記事の繰り返しの内、出願番号が平成10年以降の50万番台及び60万番台のものは「防護書換申請情報」である。

また、繰り返しの中で、「防護番号<defensive-number>」のみが存在している状況は、当該防護番号に対して、書換の申請がおきていない事を意味する。

04 持分の割合記事

国と国以外の権利の共有における、国以外の者の持ち分の割合を設定する。

05 審決の要旨

当該項目中の '#' は、該当する「指定商品・役務名」に読み替える事を意味する。

(当該事象は、1999年までの更新で発生する提供データの範囲で発生する。
2000年以降の更新で発生する提供データでは、提供対象外項目である。)

06 申立に係る請求項・区分記事及び取消す請求項・区分記事の「類」について

上記、2記事の「類」には、'90' が記録されている場合がある。

これは、一出願多区分制度導入前の申立について、固定で設定されてあるもので、本来の「類」(商品・役務区分記事に存在)とは一致しない。

07 マドプロ情報の「類」について

上記については、「国際分類」が記録されている。(国際分類: 01~45)

ただし、「類」= 99は、単に特許庁の内部処理用のコードであり、国際分類を表したものではない。

(「類」= 99が連続して現れる場合は、出現順に制限が追加された事を意味する。)

08 商標公開情報における国際商標登録出願の「出願日」について

「国際登録日」または、「事後指定日」が記録される。

09 登録情報における番号及び日付について

以下の値で提供されている場合は、庁内電算処理の内容が記録されたものである。

0 0 0 0 0 0 0 1 又は 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 : 「不詳」
0 0 0 0 0 0 0 2 又は 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2 : 「記録なし」
0 0 0 0 0 0 0 3 又は 0 0 0 0 0 0 0 0 0 3 : 「該当なし」

10 リンクIPCについて

「リンクIPC(n)記事」は、リンクしたインデキシングコードを格納するために用いられる。

リンクしたインデキシングコードは、分類表記上、インデキシングコードとそれに関連する分類記号とを丸括弧でくることによって表現され、この括弧内では関連する分類記号が最初に記載され、続いてインデキシングコードが1つまたは複数記載される。リンクしたインデキシングコードのグループが複数ある場合は、ひとつひとつのグループを括弧でくくって表記される。例えば、(C08F 210/16, 214:06) (C08F 255/04, 214:06) のように表記される。

「リンクIPC(n)記事」は最大99個のリンクしたインデキシングコードのグループ(以下「グループ」という)を繰り返しにより持つことができる。各グループは「リンクIPC(n)」に格納される。

各グループ(「リンクIPC(n)」)は、繰り返しにより「リンクIPC」の項目を最大10項目持つことができ、その第1番目の「リンクIPC」の項目は後続のインデキシングコードが関連する分類記号(FI)が格納される。この分類記号が属するテーマをそのグループのテーマとする。第2番目以降の「リンクIPC」の項目は最初の項目にリンクしたインデキシングコードが格納される。

同一「リンクIPC(n)記事」中に格納される各グループのテーマは、互いに異ならなければならない。同一テーマのグループが複数存在することは許されない。同一テーマの相異なるグループが存在する場合には、それぞれ「リンクIPC(n)記事」及び「リンクIPC(n+1)記事」に格納される。

例：

(C08F 6 / 10 , C08F 210 : 16)	「リンクIPC(1)記事」	「リンクIPC(1)」 ₁	「リンクIPC」 ₁
(C08F 210 / 16 , C08F 214 : 06)	「リンクIPC(2)記事」	「リンクIPC(2)」 ₁	「リンクIPC」 ₁ 「リンクIPC」 ₂
(C08F 255 / 04 , C08F 214 : 06)	「リンクIPC(1)記事」	「リンクIPC(1)」 ₂	「リンクIPC」 ₁ 「リンクIPC」 ₂

C08F 6/10 と C08F 210/16 のテーマコードは 4J100、C08F 255/04 のテーマコードは 4J026。

11 庁内登録マスタの膳本閲覧の状態による登録情報の記事、項目提供有無について

登録情報では、庁内登録マスタの膳本閲覧の状態によって登録情報における記事や項目の提供有無が決まる。

膳本閲覧が「閲覧できない」となっている場合
下記記事及び項目のみ提供する。

- ・ 膳本閲覧禁止
- ・ 登録記事

更新日付は提供されない。

膳本閲覧が「閲覧できる」となっている場合
下記記事及び項目を提供する。

- ・ 出願記事 ~ 更新日付

12 文献種別“ C ”または“ Z ”の場合について

「代表文献番号」項目の文献種別が“ C ”または“ Z ”の場合には当該案件に「出願記事」は存在しない。

整理標準化 データ コード表	特殊記事説明表	コード INDEX	A 0 0 1 0	VER	1 . 0
記事名称	公表・再公表記事				

当記事は、当該案件が公表データか再公表データかで、タグの発生状況が変化する。

1．公表データの場合

再公表日情報が不在の為、再公表日に関するタグ及びデータは発生しない。

```

<translation-publication-info>
  <translation-publication-number>
    Y Y Y Y N N N N N N          公表番号
  </translation-publication-number>
  <translation-publication-date>
    Y Y Y Y M M D D            公表日
  </translation-publication-date>
</translation-publication-info>

```

2．再公表データの場合

公表番号及び公表日情報が不在の為、当該情報に関するタグ及びデータは発生しない。

```

<translation-publication-info>
  <translation-republication-date>
    Y Y Y Y M M D D            再公表日
  </translation-republication-date>
</translation-publication-info>

```

整理標準化 データ コード表	特殊記事説明表	コード INDEX	A 0 0 2 0	VER	3 . 0
記事名称	原出願記事				

当記事には、分割・変更・補正却下後の新出願等による新出願及び防護標章登録出願がされた場合の「前
の出願 (= 原出願)」が記録される。

1 . 関連種別

新出願の出願種別が存在する場合がある。
出願種別については、コード表 C 0 0 2 5 を参照。

尚、薬事法にかかる延長出願も新出願として扱い、この場合、関連種別は 0 0 0 1 (追加)
として発生する。

2 . 記録される番号の種類

「番号<number>」には、出願番号又は登録番号が存在しうる。
何れの番号であるかは、「番号種別コード<kind-of-number>」で判定する。
番号種別コードについては、コード表 C 0 0 6 0 を参照。

尚、「分割番号<divisional-number>」及び「防護番号<defensive-number>」に関しては、
原出願が商標で、該当する番号を有する出願の場合にのみタグが発生する。

整理標準化 データ コード表	特殊記事説明表	コード INDEX	A 0 0 3 0	VER	1 . 0
記事名称	出願人・代理人記事 (1/2)				

当記事は、出願人情報・代理人情報の各々で、出現回数が不定の状態でも繰り返しが発生する。審査情報内の、申請人とその代理人を記録する記事も、全て同様の構造を持つ。

1 . 例 ~ A社・B社・C社の共願で、代理人の代理状況が以下の場合

- a). 出願人A社を代理人a氏が代理
- b). 出願人B社を代理人a氏及びb氏が代理
- c). 出願人C社を代理人c氏及びd氏が代理

```

<applicant-or-attorney-info>
  <applicant-info>
    出願人A社の情報(住所の国県コード、住所、出願人コード、個法官別コード、氏名)
  </applicant-info>
  <attorney-info>
    代理人a氏の情報(対象出願人人数、代理人全何名、代理人種別コード、代理人資格コード、氏名)
  </attorney-info>
  <applicant-info>
    出願人B社の情報(住所の国県コード、住所、出願人コード、個法官別コード、氏名)
  </applicant-info>
  <attorney-info>
    代理人a氏の情報(対象出願人人数、代理人全何名、代理人種別コード、代理人資格コード、氏名)
  </attorney-info>
  <attorney-info>
    代理人b氏の情報(対象出願人人数、代理人全何名、代理人種別コード、代理人資格コード、氏名)
  </attorney-info>
  <applicant-info>
    出願人C社の情報(住所の国県コード、住所、出願人コード、個法官別コード、氏名)
  </applicant-info>
  <attorney-info>
    代理人c氏の情報(対象出願人人数、代理人全何名、代理人種別コード、代理人資格コード、氏名)
  </attorney-info>
  <attorney-info>
    代理人d氏の情報(対象出願人人数、代理人全何名、代理人種別コード、代理人資格コード、氏名)
  </attorney-info>
</applicant-or-attorney-info>

```

2 . 項目説明

対象出願人人数

当該代理人が、出現順で前方の何人までの出願人の代理を行っているかの情報。

代理人全何名

出願人に対し、当該代理人を含め、何人の代理人が代理を行っているかの情報。

整理標準化 データ コード表	特殊記事説明表	コード INDEX	A 0 0 3 0	VER	1 . 0
記事名称	出願人・代理人記事 (2/2)				

登録情報内の権利者・代理人記事は、権利者情報・代理人情報の各々で、繰返しが発生する。

1 . 例 (権利者が 3 名、代理人が 2 名の場合)

```

<applicant-or-attorney-info>
  <applicant-info>
    権利者 1 人目の情報 ( 住所の国県コード、住所、権利者コード、個法官別コード、氏名 )
  </applicant-info>
  <applicant-info>
    権利者 2 人目の情報 ( 住所の国県コード、住所、権利者コード、個法官別コード、氏名 )
  </applicant-info>
  <applicant-info>
    権利者 3 人目の情報 ( 住所の国県コード、住所、権利者コード、個法官別コード、氏名 )
  </applicant-info>
  <attorney-info>
    代理人 1 人目の情報 ( 対象出願人人数、代理人全何名、代理人種別コード、代理人資格コード、氏名 )
  </attorney-info>
  <attorney-info>
    代理人 2 人目の情報 ( 対象出願人人数、代理人全何名、代理人種別コード、代理人資格コード、氏名 )
  </attorney-info>
</applicant-or-attorney-info>

```

整理標準化 データ コード表	特殊記事説明表	コード INDEX	A 0 0 4 0	VER	2 . 0
記事名称	引用文献記事 (1/4)				

引用文献記事内の「引用文献名称」について、以下に記す。

1. 引用文献の種類

(1) 特許文献

特許公報等の国内特許公報、または外国特許公報。

特許文献は、更に、下記の2種類に分類される。

- (a) 特許一次文献 通常の公報等
- (b) 特許二次文献 一次文献である特許公報を要約した抄録など

(2) 非特許文献

図書、雑誌、論文等。

2. 文献コード

(1) 特許一次文献

・構造

国コード	一次文献コード
C 2	C 1

・国コードは、コード表 C 0 0 5 0 を参照。但し、日本は、J A の場合もある。

・一次文献コードは、以下の内容である。

特許出願	J	特許公報	E
実用新案	K	実用登録	F
特許公開・公表	A	登録実用	N
実用公開・公表	B	特許登録	X
特許公告	P	実用登録	W
実用公告	U	意匠	D
			その他	L

(2) 特許二次文献

・構造

YY	二次文献コード
C 2	C 1

・YYは、固定値である。

・二次文献コードは、以下の内容である。

アブリッジメント	A	B O P I	B
ダーウェント	D	オフィシャルガゼット	G
アウスツァーゲ	Z	米国和文抄録	U
			その他	Y

整理標準化 データ コード表	特殊記事説明表	コード INDEX	A 0 0 4 0	VER	2 . 0
記事名称	引用文献記事 (2/4)				

(3) 非特許文献

・構造	非特許文献コード	内外種別コード
	C 2	C 1

・非特許文献コードは、以下の内容である。

雑誌 ZZ
 (例：年報、社報、議報、技報、ジャーナル、論文、文献集、集報、年間誌、新聞、研究会資料、レポート等の定期・不定期に連続性が有るもの)

図書 WW
 (例：議事録、年鑑、便覧、マニュアル、講座、J I S、テキスト、報告書、資料集、学位論文、技動、産別基準、ハンドブック、規格等の発行日があるもの)

カタログ SS
 (例：カタログ、データ、仕様書、説明書、ガイド、目録、カタログファイル等のパンフレット類)

・内外種別コードは、以下の内容である。

内国 D
 外国 F

(4) その他の非特許文献等

その他の非特許文献等については、3桁を全て用い、そのコードは、以下の内容である。

刊行物以外の証拠 O O X
 (例：証書、証人尋問、物証、証明、証人記録、グラフ、会社案内、特許庁公報、納品書、審決公報、発明協会公開技報等)

ダーウェントカード..... Y Y D

3 . 文献名称(漢字文献名称)

(1) 特許文献

(a) 内国の場合、「yy - nnnnnnnC」又は「nnnnnnnn」

yy : 和暦年
 n ~ n : 数字(番号)
 C : 元号コード(T ; 大正、S ; 昭和、H ; 平成)

【例】特開平 - 号公報 J A A - H
 実開昭 - 号公報 J A B - S
 特許第 号公報 J A E

整理標準化 データ コード表	特殊記事説明表	コード INDEX	A 0 0 4 0	VER	2 . 0
記事名称	引用文献記事 (3/4)				

(b) 外国の場合、任意の桁数となる。

【例】 米国特許第	号明細書	U S P
英国特許第	号明細書	G B P
仏国特許第	号明細書	F R P

(2) 非特許文献

文献名	=	発行年	発行国コード	追加情報
任意桁	1 桁	2 桁	2 桁	任意桁

文献名

カタカナ、ひらがな、漢字または大文字アルファベットの文字列。

=

文献名と後続データのセパレータ。

後続の「発行年」が不明で存在しない場合、当セパレータは存在しない。

発行年

文献が発行された年。

(西暦 1 9 7 2 1 9 7 2、大正 1 2 年 T 1 2、昭和 3 4 年 S 3 4、平成 5 年 H 5)

発行国コード

文献が発行された国の国コード(コード表 C 0 0 5 0 を参照)。

発行国が日本、又は不明の場合には存在しない。

追加情報

セパレータを先頭に配し、以下の種類の情報が追加情報として存在しうる。

- ・セパレータ「@」に続く文字列 引用文献種別、頁図例(又は引用部分表示等)
- ・セパレータ「#」に続く文字列 月号、巻、号数、発行所、版数、著者
- ・「\$\$\$」で囲まれた文字列は、異議非特許、拒絶理由で引用された等の非特許文献番号を示す

非特許文献については、上記 又は に、2 byte コードでしか表現できない文字が存在する場合には、 ~ の全てを 2 byte コードで表現し、「漢字文献名称<KANJI-document-title>」として存在する事となる。

整理標準化 データ コード表	特殊記事説明表	コード INDEX	A 0 0 4 0	VER	2 . 0
記事名称	引用文献記事 (4/4)				

4 . 記事の構成例

```

<cited-document-info>

  <cited-document>
    <kind-of-data>07</kind-of-data>
    <drafting-date>19970801</drafting-date>

    <cited-document-title>
      <clause-code>04</clause-code>
      <document-code>JPA</document-code>
      <document-title>2-103204H</document-title>          特開平 2-103204 号公報
    </cited-document-title>

    <cited-document-title>
      <clause-code>04</clause-code>
      <document-code>WWD</document-code>
      <KANJI-document-title>日本眼科協会 = S 5 9 @ M 1 D 2 0 </KANJI-document-title>
    </cited-document-title>
  </cited-document>

  <cited-document>
    <kind-of-data>09</kind-of-data>
    <drafting-date>19970811</drafting-date>

    <cited-document-title>
      <clause-code>05</clause-code>
      <document-code>WWD</document-code>
      <document-title>ニホンガ ンカキヨカイ=S40@M12D1@V45</document-title>
    </cited-document-title>

    <search-range>(A01B1/04,G03C)</search-range>
  </cited-document>
</cited-document-info>

```

整理標準化 データ コード表	特殊記事説明表	コード INDEX	A 0 0 5 0	VER	2 . 0
記事名称	中間記録				

基本情報及び審判情報の中間記録は、「受付タイプ」「庁内タイプ」及び「発送タイプ」によって構成されており、各タイプの出現順や出現回数が不定の状態が繰り返しが発生する。

尚、各タイプの下に設定されている項目群も、中間コードの値によってその存在の有無が変化する。

当該中間コードがどのタグ名によって記録されているかは、該当するコード表の「識別」欄の値で知ることができる。

1. 例（基本情報【受付処理 庁内処理 庁内処理 受付処理 発送処理】の場合）

```

<intermediate-in-examination-info>
  <acceptance-in-exam-type-action>
    中間コード「A 6 3」の情報（受付タイプ：作成日～氏名）
  </acceptance-in-exam-type-action>

  <domestic-in-exam-type-action>
    中間コード「A 8 8 1」の情報（庁内タイプ：作成日～包袋抽出日等）
  </domestic-in-exam-type-action>

  <domestic-in-exam-type-action>
    中間コード「A 9 6 1」の情報（庁内タイプ：作成日～包袋抽出日等）
  </domestic-in-exam-type-action>

  <acceptance-in-exam-type-action>
    中間コード「A 5 2 3」の情報（受付タイプ：作成日～氏名）
  </acceptance-in-exam-type-action>

  <dispach-in-exam-type-action>
    中間コード「A 1 1 2」の情報（発送タイプ：作成日～料金）
  </dispach-in-exam-type-action>
</intermediate-in-examination-info>

```

2. 項目説明

対応マーク

当該マークの値の等しい中間記録同志は、対応している記録である。

包袋抽出日等

審査・庁内タイプの「包袋抽出日等<wrapper-pick-up-date>」には、包袋抽出日の他に、解除日、移管日、戻し日、異議確定日の各日付情報が存在しうる。

3. 審判情報の中間記録

2000年以降の更新で発生する提供データでは、審判情報の中間記録に関しては上記記述とは異なり「受付タイプ」「発送タイプ」「庁内タイプ」の順に、各タイプ毎の固まりで、その個数が不定の状態が繰り返しが発生する。

また、2000年以降の更新で発生する提供データでは、「対応マーク」は発生せず、「対応発送番号」及び「対応受付番号」の値で対応付けをとる。当該番号の値の等しい中間記録同志が、対応している記録である。

整理標準化 データ コード表	特殊記事説明表	コード INDEX	A 0 0 6 0	VER	1 . 0
記事名称	申立に係る請求項・区分記事				

当記事は、当該案件が特許及び実用新案のデータか商標のデータかで、タグの発生状況が変化する。
「取消す請求項・区分記事」に関しても同様である。

1 . 特許及び実用新案のデータ

商品区分情報が不在の為、商品区分に関するタグ及びデータは発生しない。

```
<claim-for-opposition-info>
  <opposition-number> 1 </opposition-number>
    <claim> 0 1 </claim>
    <claim> 0 2 </claim>
  <opposition-number> 2 </opposition-number>
    <claim> 0 1 </claim>
    <claim> 0 2 </claim>
    <claim> 0 4 </claim>
    <claim> 0 5 </claim>
  <opposition-number> 3 </opposition-number>
    <claim> 0 3 </claim>
</claim-for-opposition-info>
```

2 . 商標のデータの場合

請求項情報が不在の為、請求項情報に関するタグ及びデータは発生しない。

```
<claim-for-opposition-info>
  <opposition-number> 1 </opposition-number>
    <class-of-goods-and-services>
      異議番号 1 に対する商品区分 1 個目の情報 (法、類、指定商品名)
    </class-of-goods-and-services>
    <class-of-goods-and-services>
      異議番号 1 に対する商品区分 2 個目の情報 (法、類、指定商品名)
    </class-of-goods-and-services>
  <opposition-number> 2 </opposition-number>
    <class-of-goods-and-services>
      異議番号 2 に対する商品区分 1 個目の情報 (法、類、指定商品名)
    </class-of-goods-and-services>
</claim-for-opposition-info>
```

整理標準化 データ コード表	特殊記事説明表	コード INDEX	A 0 0 7 0	VER	2 . 0
記事名称	商標名記事				

商標名記事として記録される表示用商標の、データ蓄積時に使用されている「商標の特殊な態様、配置、文字あるいは記号等」を表現するための「特殊記号」について以下に記す。

尚、本来、右から左へ読んではじめて意味が通じるものであっても、データは文字列を左から右への並びと見て蓄積されている為、注意が必要である。

表示用商標の「特殊記号」表

使用する記号		使用例	
記号の意味	記号 (コード)	商標態様例	データ蓄積形式
特殊態様	§ (A1F8)		§ T B S
構成分離	(A1E7)		タケダミゴー TAKEDAMIGO
変体仮名	(A2A5) (A2A7)		猪名ノ月
特殊記号	¢ (A1F1)	mølt	¢molt
		mûrir	¢murir
		fée	¢fee
段併記	\	プレビックス P R E B i X	プレビックス\PREBIX
			ひまわり\向日葵

整理標準化 データ コード表	特殊記事説明表	コード INDEX	A 0 0 8 0	VER	2 . 0
記事名称	検索用商標記事 (1/2)				

当記事の「検索用商標」は、「商標名記事」の表示用商標を、以下の様に加工して作成したものである。

- 1 . 表示用商標内のスペースはすべて詰めてある。
- 2 . 表示用商標内の「特殊態様」「変体仮名」及び「特殊記号」は全て削除してある。
- 3 . 表示用商標内に「構成分離」又は「段併記」を含む場合、当該記号で分離した各々が検索用商標となっている。
- 4 . 変換記号(文字)については、「対応文字コード表」を参照。

整理標準化 データ コード表	特殊記事説明表	コード INDEX	A 0 0 8 0	VER	2 . 0
記事名称	検索用商標記事 (2/2)				

(表示用商標 検索用商標) 「対応文字コード表」

文字	JISコード	文字	JISコード
小文字 大文字変換			
a	A3E1	A	A3C1
b	A3E2	B	A3C2
c	A3E3	C	A3C3
d	A3E4	D	A3C4
e	A3E5	E	A3C5
f	A3E6	F	A3C6
g	A3E7	G	A3C7
h	A3E8	H	A3C8
i	A3E9	I	A3C9
j	A3EA	J	A3CA
k	A3EB	K	A3CB
l	A3EC	L	A3CC
m	A3ED	M	A3CD
n	A3EE	N	A3CE
o	A3EF	O	A3CF
p	A3F0	P	A3D0
q	A3F1	Q	A3D1
r	A3F2	R	A3D2
s	A3F3	S	A3D3
t	A3F4	T	A3D4
u	A3F5	U	A3D5
v	A3F6	V	A3D6
w	A3F7	W	A3D7
x	A3F8	X	A3D8
y	A3F9	Y	A3D9
z	A3FA	Z	A3DA
ギリシャ文字 大文字変換			
	A6A1	A	A3C1
	A6A2	B	A3C2
	A6A5	E	A3C5
	A6A6	Z	A3DA
	A6A7	H	A3C8
	A6A9	I	A3C9
	A6AA	K	A3CB
	A6AC	M	A3CD
	A6AD	N	A3CE
	A6AF	O	A3CF
	A6B1	P	A3D0
	A6B3	T	A3D4
	A6B6	X	A3D8

文字	JISコード	文字	JISコード
ロシア文字 大文字変換			
	A7A1	A	A3C1
	A7A3	B	A3C2
	A7A6	E	A3C5
	A7AE	M	A3CD
	A7AF	H	A3C8
	A7B0	O	A3CF
	A7B2	P	A3D0
	A7B3	C	A3C3
	A7B4	T	A3D4
	A7B7	X	A3D8
長音・ハイフンに似た記号 マイナス変換			
(上線)	A1B1	-	A1DD
—	A1B2		
(下線)	A1BC		
(長音)	A1BD		
(中線)	A1BE		
(短中線)	A8A1		
(横罫線)			
その他の統一コード変換			
°	A1EB	°	A1AC
○	A1BB		A1FB
	A2FE		
;	A1A8	:	A1A7
	A1ED		
“	A1C8	”	A1C9
、	A1AB		
	A1EC		
‘	A1C6	’	A1C7
’	A1AD		
、	A1AE		
=	A2AE	=	A1E1
	A1C5		
…	A1AF	…	A1C4
	A2E3	《	A1D4
	A2E4	》	A1D5
、	A1A2		
,	A1A4	.	A1A6
.	A1A5		
。	A1A3		

整理標準化 データ コード表	コード内容説明表	コード INDEX	B 0 0 1 0	VER	3 . 0
----------------------	----------	--------------	-----------	-----	-------

出願番号の番号体系

出願番号は番号体系により、以下の出願の種類を表現している。

(1) 特許

- 1. 000001 ~ 499999 : 国内・通常出願
- 2. 500001 ~ 599999 : P C T 出願
- 3. 700001 ~ 799999 : 延長出願
- 4. 800001 ~ 899999 : 協定出願
- 5. 400001 ~ 417496 : 電子出願 (1990 年のみ)

(2) 実用

- 1. 000001 ~ 499999 : 国内・通常出願
- 2. 600001 ~ 699999 : P C T 出願
- 3. 700001 ~ 799999 : 延長出願
- 4. 800001 ~ 899999 : 協定出願
- 5. 400001 ~ 406238 : 電子出願 (1990 年のみ)

(3) 意匠

- 1. 000001 ~ : 通常出願

(4) 商標

1 9 7 8 年

- 1. 000001 ~ 249999 : 通常出願
- 2. 250001 ~ : 更新出願

1 9 7 9 年 ~ 1 9 9 1 年

- 1. 000001 ~ 199999 : 通常出願
- 2. 200001 ~ : 更新出願

1 9 9 2 年 ~ 1 9 9 6 年

- 1. 000001 ~ 699999 : 通常出願
- 2. 700001 ~ : 更新出願

1 9 9 7 年

- 1. 000001 ~ 099999 : 通常出願
- 2. 100001 ~ 699999 : 通常出願 (一出願多区分)
- 3. 700001 ~ 749999 : 更新出願
- 4. 750001 ~ : 防護更新出願

1 9 9 8 年 ~

- 1. 000001 ~ 499999 : 通常出願 (一出願多区分)
- 2. 500001 ~ 699999 : 書換申請
- 3. 700001 ~ : 防護更新出願

2 0 0 0 年 ~

- 1. 000001 ~ 349999 : 通常出願 (一出願多区分)
- 2. 350001 ~ 499999 : マドリッドプロトコル出願 (整理標準化マドプロ管理番号 B0250)
- 3. 500001 ~ 699999 : 書換申請
- 4. 700001 ~ : 防護更新出願

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 0 4 0	VER	1 . 0
項目名称	登録番号		タイプ& レンジス	C 1 0	
データ形式	0 1 0 2 0 3 N 1 N 2 N 3 N 4 N 5 N 6 N 7				
	C 1 0				
内 容	0 1 0 2 0 3 : 固定の前 0				
	N 1 N 2 N 3 N 4 N 5 N 6 N 7 : 番 号 (右 詰 ・ 前 0)				
	登録番号は番号体系により、以下の登録の種類を表現している。				
	(1) 特許・実用新案				
	1. 3 0 0 0 0 0 1 ~ : 登録実用 (平成 6 年より施行)				
	2. 2 5 0 0 0 0 1 ~ : 付与後異議 (平成 8 年より施行)				
	(2) 商標				
	1. 3 0 0 0 0 0 1 ~ : 役務登録 (平成 4 年より施行)				
	2. 4 0 0 0 0 0 1 ~ : 付与後異議 (平成 9 年より施行)				
備 考				
				
				

整理標準化 データ コード表	コード内容説明表	コード INDEX	B 0 0 9 0	VER	3 . 0
----------------------	----------	--------------	-----------	-----	-------

登録の中間記録

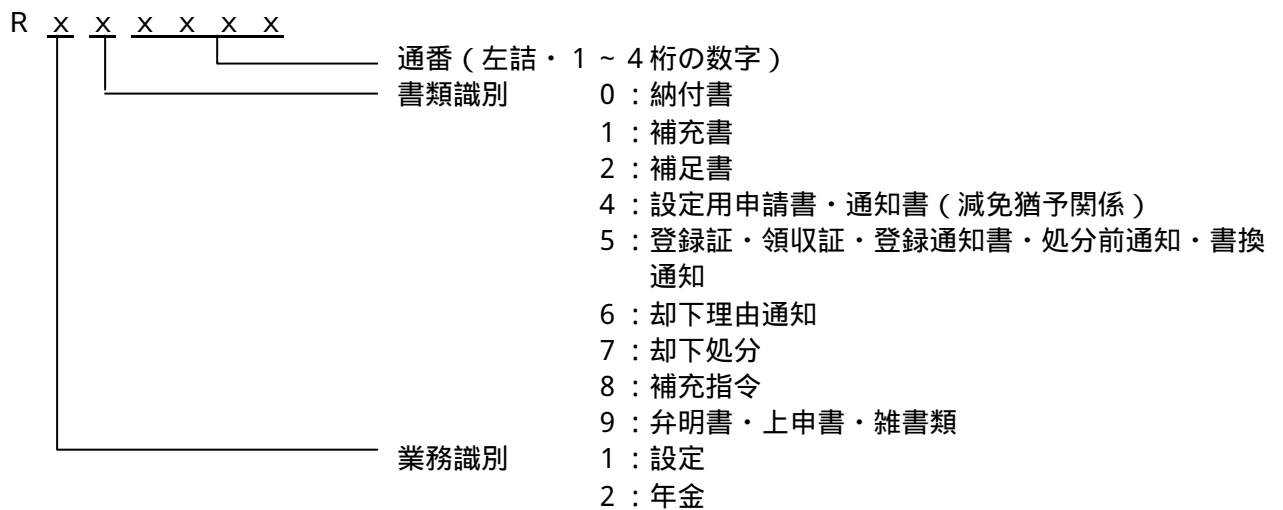
登録の中間記録は大別すると、出願関係の記録、設定関係の記録、年金関係の記録、移転関係の記録及びその他の記録がある。

A . 出願

出願関係については登録査定書 (A 0 1) , 出願却下処分書 (A 0 4 5) 及び誤送通知書 (A 2 6) の3種類のみである。

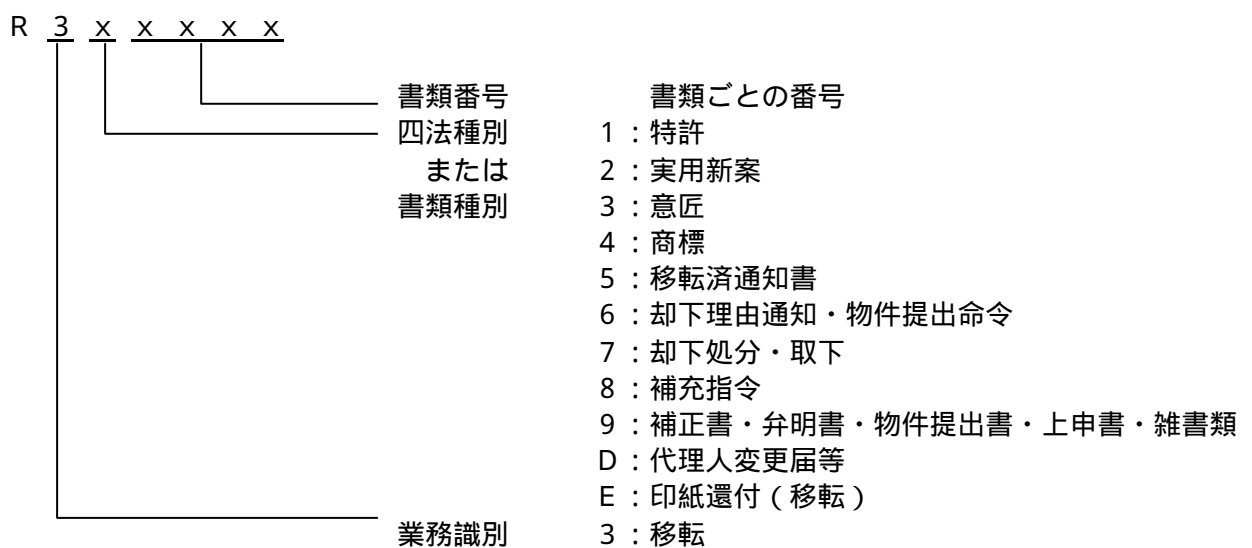
B . 設定および年金

設定関係及び年金関係のコードは、以下の構成となっている。



C . 移転

移転関係のコードは、以下の構成となっている。



D . その他

その他については、誤送通知 (R 9 0) 及び職権訂正 (R 9 1) の2種類である。

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 1 0 0	VER	1 . 0								
項目名称	行服番号		タイプ& レンジス	C 9									
データ形式	<table border="1"> <tr> <td>N 1</td> <td>Y 1 Y 2</td> <td>N 2 N 3 N 4 N 5</td> <td>N 6 N 7</td> </tr> <tr> <td>C 1</td> <td>C 2</td> <td>C 4</td> <td>C 2</td> </tr> </table>					N 1	Y 1 Y 2	N 2 N 3 N 4 N 5	N 6 N 7	C 1	C 2	C 4	C 2
N 1	Y 1 Y 2	N 2 N 3 N 4 N 5	N 6 N 7										
C 1	C 2	C 4	C 2										
内 容	<hr/> N 1 : 元号コード 1 ; 明治 <hr/> 2 ; 大正 <hr/> 3 ; 昭和 <hr/> 4 ; 平成 <hr/> Y 1 Y 2 : 和暦年 (右詰・前 0) <hr/> N 2 N 3 N 4 N 5 : 一連番号 (4 桁・右詰・前 0 の年間通番) <hr/> N 6 N 7 : 枝 番 (最初は不在で、後 0 1 ~ 9 9 が付される) <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>												
	備 考	<hr/> 枝番が存在しない場合には、左詰め of 7 桁構成となる。 <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>											

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 1 1 0	VER	1 . 0								
項目名称	出訴番号		タイプ& レンジス	C 7									
データ形式	<table border="1"> <tr> <td>N1</td> <td>Y1Y2</td> <td>C</td> <td>N2N3N4</td> </tr> <tr> <td>C 1</td> <td>C 2</td> <td>C 1</td> <td>C 3</td> </tr> </table>					N1	Y1Y2	C	N2N3N4	C 1	C 2	C 1	C 3
N1	Y1Y2	C	N2N3N4										
C 1	C 2	C 1	C 3										
内 容	<hr/> N1 : 元号コード 1 ; 明治 <hr/> 2 ; 大正 <hr/> 3 ; 昭和 <hr/> 4 ; 平成 <hr/> Y1Y2 : 和暦年 (右詰・前0) <hr/> C : 出訴区分 ウ ; 地裁 <hr/> コ ; 高裁 <hr/> ツ ; 最高裁 <hr/> N2N3N4 : 一連番号 (3桁、右詰・前0の年間通番) <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>												
	備 考	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>											

整理標準化 データ コード表	コード内容説明表	コード INDEX	B 0 1 2 0	VER	2 . 0
----------------------	----------	--------------	-----------	-----	-------

審判番号の番号体系

番号体系は、審判請求年と審判の種別により、以下の使い分けがなされている。

番号	～平成5年	平成6,7年	平成8年	平成9年	平成10年～
1 ~ 30,000	通常・訂正	通常・訂正			査定不服
30,001 ~ 35,000					取 消
35,001 ~ 39,000					無 効
39,001 ~ 40,000					訂 正
40,001 ~ 50,000		新実用無効			
50,001 ~ 60,000	補 正				
60,001 ~ 70,000	判 定				
70,001 ~ 80,000	再 審	付与後異議（特・実）			
80,001 ~ 85,000	除 斥				
85,001 ~ 90,000	忌 避				
90,001 ~ 95,000	証拠保全		付与後異議（商標）		
95,001 ~ 96,000	旧法出願の抗告	再 審			
96,001 ~ 97,000		除 斥			
97,001 ~ 98,000		忌 避			
98,001 ~ 99,000		証拠保全			
99,001 ~ 99,999		抗 告			

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 1 4 0	VER	2 . 0
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

項目名称	延長・無効の期間	タイプ& レンジス	C 6
------	----------	--------------	-----

データ形式	Y1Y2	M1M2	D1D2
	C 2	C 2	C 2

内
容

期間 「Y1Y2年，M1M2月，D1D2日」を示す。

Y1Y2，M1M2，D1D2は、各々、前0付きの2桁の数字である。

備
考

2000年以降の更新で発生するデータでは、提供対象外。

整理標準化 データ コード表	コード内容説明表	コード INDEX	B 0 1 9 0	VER	3 . 0
----------------------	----------	--------------	-----------	-----	-------

申請人IDコードの説明

項番	申請人区分 (1桁)	登録年 (2桁)	シーケンス 番号 (5桁)	チェック デジット (1桁)	付与方法	内容	
1			1 0 0 0 1 ~		初期登録時の番号管理 テーブル	J A P I Oからの移行分 初期登録時に移行	
2	0	0 0	0 Z x x x		x x xは出願人コード を割当てる。 但し、先頭1桁が ' A ' の 場合Zは1、xの先頭 1桁は0となる。 上記以外Zは0となる	A B Cテーブルからの移行分 初期登録時に移行	
3	1	0 0	x x x x x		x x x x xに代理人コ ードを割当てる	弁理士専用 初期登録時の移行 + *電子出願開始 後の付与請求書を含む	
4		1 0	0 0 0 0 1 ~		番号管理テーブル	特許業務法人専用 2 0 0 1年弁理士法改正後の付与請 求、職権登録時により登録	
5	2	1 0	0 x x x x		x x x xに代理人コ ードを割当てる	企業代理人専用 初期登録時に代理人資格が0 (一般 人)のものを移行	
6		2 0	1 0 0 0 1 ~		番号管理テーブル	*電子出願開始後の指定代理人専用 職権登録、付与請求書により登録	
7		0 x x x x		x x x xに指定代理人 コードを割当てる	*電子出願開始後の指定代理人専用 初期登録時に移行		
8		3 0	1 0 0 0 1 ~		番号管理テーブル	*電子出願開始後の弁護士専用 職権登録、付与請求書により登録	
9		0 x x x x		x x x xに弁護士コ ードを割当てる	*電子出願開始後の弁護士専用 初期登録時に移行		
10		4 0	0 0 0 0 1 ~		番号管理テーブル	弁護士法人専用 2 0 0 2年4月弁護士法改正後の付 与請求、職権登録により登録(但し、 予定)	
11		3 ~ 4	Y Y	0 0 0 0 1 ~		番号管理テーブル Y Yは西暦年下2桁	付与請求書による登録
12		5 ~ 7	Y Y	0 0 0 0 1 ~		番号管理テーブル Y Yは西暦年下2桁	職権による登録
13	8	Y Y	0 0 0 0 1 ~		番号管理テーブル Y Yは西暦年下2桁	大学等における技術に関する経営研 究成果の民間事業者への移転の促進 に関する法律に基づき事業計画書が 承認・認定された技術移転事業者専 用(付与請求による登録)	
14	9	Z Z	0 0 0 0 1 ~		番号管理テーブル Z Zは都道府県コード	即日出願用 発明協会支部端末からの出願(即日 出願用)、その他	

*電子出願...ここで言う電子出願とは、以下出願番号のとおり

特許、実用新案の場合

- ・平成2年=400001~499999、平成3年~11年=000001~499999(但し、実用新案:599999)、
平成12年以降=000001~699999

意匠の場合

- ・平成9年=050001~、平成10年以降=000001~

商標の場合

- ・平成9年=100001~699999:通常、750001~799999:更新、平成10年以降=000001~(但し、平成12年以降
350001~499999を除く)

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 2 0 0	VER	4 . 0						
項目名称	類似群コード		タイプ& レンジス	C 5							
データ形式	<table border="1"> <tr> <td>X₁X₂</td> <td>Y₁</td> <td>Z₁Z₂</td> </tr> <tr> <td>C 2</td> <td>C 1</td> <td>C 2</td> </tr> </table>					X ₁ X ₂	Y ₁	Z ₁ Z ₂	C 2	C 1	C 2
X ₁ X ₂	Y ₁	Z ₁ Z ₂									
C 2	C 1	C 2									
内 容	<hr/> X ₁ X ₂ : 大分類 (数字 2 桁) <hr/> <hr/> Y ₁ : 中分類 (英字 1 桁) <hr/> <hr/> Z ₁ Z ₂ : 小分類 (数字 2 桁) <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>										
	備 考	<hr/> 類似する商品及び役務を推定してコード化したもの。 <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>									

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 2 3 0	VER	2 . 0						
項目名称	ウィーン分類		タイプ& レンジス	C n (n = 4 or 6)							
データ形式	<table border="1"> <tr> <td>大分類</td> <td>中分類</td> <td>小分類</td> </tr> <tr> <td>C 2</td> <td>C 2</td> <td>C 2</td> </tr> </table>					大分類	中分類	小分類	C 2	C 2	C 2
大分類	中分類	小分類									
C 2	C 2	C 2									
内 容	大分類 : 数字 (0 1 ~ 9 9)										
	中分類 : 数字 (0 1 ~ 9 9)										
	小分類 : 数字 (0 1 ~ 9 9) 又は なし										
備 考	(公報での表記形式)										
	(a) 大分類、中分類及び小分類の番号は前ゼロを省略し、ピリオドで分けられる。										
	(例) 大分類 03、中分類 09、小分類 10 3.9.10										
	(b) 分類が複数あるときは、セミコロンにより連続して表記する。										
	(例) 大分類 03、中分類 09、小分類 16 と 大分類 04、中分類 10、小分類 17 3.9.16;4.10.17										
	(c) 小分類の番号が含まれない場合は、小分類は省略される。										
	(例) 大分類 03、中分類 09 と 大分類 04、中分類 10 3.9;4.10										

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 2 6 0	VER	4 . 0												
項目名称	代表文献番号、文献番号		タイプ& レンジ	C 1 2													
データ形式	<table border="1"> <tr> <td>C1C2</td> <td>C3</td> <td>N1</td> <td>Y1Y2</td> <td colspan="2">N2N3N4N5N6N7</td> </tr> <tr> <td>C 2</td> <td>C 1</td> <td>C 1</td> <td>C 2</td> <td colspan="2">C 6</td> </tr> </table>					C1C2	C3	N1	Y1Y2	N2N3N4N5N6N7		C 2	C 1	C 1	C 2	C 6	
C1C2	C3	N1	Y1Y2	N2N3N4N5N6N7													
C 2	C 1	C 1	C 2	C 6													

内 容	C1C2	:	国コード (' J P ' 固定)	
	C3	:	文献種別 A ; 特許 (公開、公表、再公表) B ; 特許 (公告) U ; 実用新案 (公開、公表、再公表、実用新案登録) Y ; 実用新案 (公告) C ; 特許 (明細書) Z ; 実用新案 (明細書)	
	N1	:	元号コード 1 ; 明治 2 ; 大正 3 ; 昭和 4 ; 平成 0 ; (登録番号の時、及び、文献種別が ' C ' 、 ' Z ' の時)	
	Y1Y2	:	和暦年 (右詰・前 0) 又は ' 0 0 '	
	N2N3N4N5N6N7	:	一連番号 (6 桁・右詰・前 0 の通番)	

備 考	代表文献番号は通常、公開番号であり公開番号がない場合、公告番号が記録されている。
	上記、両番号共にマスタ上保持していないときは、登録番号の場合もある。 この場合、登録番号は和暦年 (Y1Y2) 、一連番号 (N2N3N4N5N6N7) にまたがって記録される。
	(代表文献番号が公開番号である場合は、文献番号は公告番号となる)

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 2 7 0	VER	3 . 1						
項目名称	引用文献番号		タイプ& レンジ	C 1 3 又は C 1 6							
データ形式	<table border="1"> <tr> <td>コード欄</td> <td>文献種別</td> <td>年・一連番号等</td> </tr> <tr> <td>C 2</td> <td>C 2</td> <td>C 9 又は C 1 2</td> </tr> </table>					コード欄	文献種別	年・一連番号等	C 2	C 2	C 9 又は C 1 2
コード欄	文献種別	年・一連番号等									
C 2	C 2	C 9 又は C 1 2									

内 容	コード欄、文献種別、年・一連番号等の各項目の値により以下の形式に分けられる。
	・国内特許文献 (コード表 B 0 2 8 0 参照)
	コード欄(国コード'JP') + 文献種別(2桁) + 元号年(3桁) + 一連番号(6桁)
	凡例 JPccaynnnnnn
	コード欄(国コード'JP') + 文献種別('A1') + '0' + 西暦年下2桁(2桁) + 一連番号(6桁)
	凡例 JPA10yynnnnnn
	コード欄(国コード'JP') + 文献種別(2桁) + '00' + 一連番号(7桁)
	凡例 JPcc00nnnnnnnn
	・外国特許文献 (コード表 B 0 2 9 0 参照)
	コード欄(国コード2桁) + 文献種別(2桁) + 一連番号(9桁)
凡例 bbccnnnnnnnnnn	
・非特許文献 (コード表 B 0 3 0 0 参照)	
コード欄(国コード'JP') + 文献種別(2桁) + '0' + 西暦年下2桁(2桁) + 一連番号(6桁)	
凡例 JPcc0yynnnnnn	
コード欄('CS') + 文献種別(2桁) + 西暦年(4桁) + 書籍番号(5桁) + 記事番号(3桁)	
凡例 CSccyyynnnnnnnn	
・その他	
コード欄1桁目('*') + コード欄2桁目以降(最大15桁の英数字)	
凡例 *ccccccccccccccc	

備 考	非特許文献 のコード欄 'CS' 値はCSDBを意味する。

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 2 8 0	VER	3 . 1
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

項目名称	引用文献番号 (国内特許文献)	タイプ & レンジ	C 1 3
------	-----------------	--------------	-------

データ形式	<table border="1"> <tr> <th>‘ J P ’</th> <th>文献種別</th> <th>元号年</th> <th>一連番号</th> </tr> <tr> <td>C 2</td> <td>C 2</td> <td>C 3</td> <td>C 6</td> </tr> </table>				‘ J P ’	文献種別	元号年	一連番号	C 2	C 2	C 3	C 6		
	‘ J P ’	文献種別	元号年	一連番号										
	C 2	C 2	C 3	C 6										
	又は													
	<table border="1"> <tr> <th>‘ J P ’</th> <th>‘ A 1 ’</th> <th>‘ 0 ’</th> <th>西暦年下 2 桁</th> <th>一連番号</th> </tr> <tr> <td>C 2</td> <td>C 2</td> <td>C 1</td> <td>C 2</td> <td>C 6</td> </tr> </table>				‘ J P ’	‘ A 1 ’	‘ 0 ’	西暦年下 2 桁	一連番号	C 2	C 2	C 1	C 2	C 6
	‘ J P ’	‘ A 1 ’	‘ 0 ’	西暦年下 2 桁	一連番号									
	C 2	C 2	C 1	C 2	C 6									
	又は													
	<table border="1"> <tr> <th>‘ J P ’</th> <th>文献種別</th> <th>‘ 0 0 ’</th> <th>一連番号</th> </tr> <tr> <td>C 2</td> <td>C 2</td> <td>C 2</td> <td>C 7</td> </tr> </table>				‘ J P ’	文献種別	‘ 0 0 ’	一連番号	C 2	C 2	C 2	C 7		
	‘ J P ’	文献種別	‘ 0 0 ’	一連番号										
C 2	C 2	C 2	C 7											

内 容	文献種別	: 1 桁目 : 英数字
		2 桁目 : 数字 又は 空白
	元号年	: 元号コード + 和暦年
	元号コード	: 数字 1 桁 1 ; 明治
		2 ; 大正
		3 ; 昭和
		4 ; 平成
	和暦年	: 数字 2 桁 (右詰・前 0)
	西暦年下 2 桁	: 数字 2 桁 (右詰・前 0)
	一連番号	: 数字 6 桁又は 7 桁 (右詰・前 0 の通番)

備 考	【参考情報】 (文献種別 ; 文献名 例)			
	1 ; 特許出願	<u>J P 1 4 1 3 0 0 0 0 0 1</u>	2 ; 実用新案出願	<u>J P 2 4 1 3 0 0 0 0 0 1</u>
	A ; 特許公開	<u>J P A 4 1 3 0 0 0 0 0 1</u>	U ; 実用新案公開	<u>J P U 4 1 3 0 0 0 0 0 1</u>
	A ; 特許公表	<u>J P A 4 1 3 5 0 0 0 0 1</u>	U 1 ; 実用新案全文	<u>J P U 1 4 1 3 0 0 0 0 0 1</u>
	A 1 ; 特許 実用再公表	<u>J P A 1 0 0 1 0 0 0 0 0 1</u>	U ; 実用新案公表	<u>J P U 4 1 3 5 0 0 0 0 1</u>
	B ; 特許公告	<u>J P B 4 1 3 0 0 0 0 0 1</u>	U ; 登録実用新案	<u>J P U 0 0 0 0 0 0 0 1</u>
	B ; 特許公報	<u>J P B 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	Y ; 実用新案公告	<u>J P Y 4 1 3 0 0 0 0 0 1</u>
	C ; 特許明細	<u>J P C 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	Y ; 実用新案登録	<u>J P Y 0 0 0 0 0 0 0 1</u>
	S ; 意匠	<u>J P S 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	Z ; 実用新案明細	<u>J P Z 0 0 0 0 0 0 0 1</u>

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 2 9 0	VER	3 . 1						
項目名称	引用文献番号（外国特許文献）		タイプ& レンジス	C 1 3							
データ形式	<table border="1"> <tr> <td>コード欄</td> <td>文献種別</td> <td>一連番号</td> </tr> <tr> <td>C 2</td> <td>C 2</td> <td>C 9</td> </tr> </table>					コード欄	文献種別	一連番号	C 2	C 2	C 9
コード欄	文献種別	一連番号									
C 2	C 2	C 9									

内 容	コード欄	: 国コード	(コード表 C 0 0 5 0 参照)
	文献種別	: 1桁目 : 英字	
		: 2桁目 : 英数字 又は 空白	
	一連番号	: 数字9桁 (右詰・前0の通番)	

備 考	【参考情報】(例)	
	<u>E P A 1 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	<u>C H A 1 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>
	<u>E P B 1 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	<u>W O A 2 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>
	<u>U S A 2 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	<u>W O A 2 0 0 1 0 0 0 0 0 1</u>
	<u>U S B 2 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	(国コード ' W O ' の場合の一連番号には ' 0 y y n n n n n ' の形式が入力されている場合もある。y y : 西暦下2桁)
	<u>D E A 3 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	
	<u>D E B 3 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	
	<u>D E C 3 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>	例は主要国であり、各国の文献番号形式に従って文献種別、及び、一連番号の値が設定される。
<u>D E U 3 0 0 0 0 0 0 0 0 1</u>		

整理標準化 データ コード表	特殊項目説明表	コード INDEX	B 0 3 0 0	VER	3 . 1
----------------------	---------	--------------	-----------	-----	-------

項目名称	引用文献番号（非特許文献）	タイプ& レンジ	C 1 3 又は C 1 6
------	---------------	-------------	----------------

データ形式	‘ J P ’	文献種別	‘ 0 ’	西暦年下 2 桁	一連番号
	C 2	C 2	C 1	C 2	C 6
	又は				
	‘ C S ’	文献種別	西暦年	書籍番号	記事番号
	C 2	C 2	C 4	C 5	C 3

内 容	文献種別	: 英数字 2 桁
	西暦年下 2 桁	: 数字 2 桁 (右詰・前 0)
	一連番号	: 数字 6 桁又は 8 桁 (右詰・前 0 の通番)
	西暦年	: 数字 4 桁 (右詰)
	書籍番号	: 数字 5 桁 (右詰・前 0)
	記事番号	: 数字 3 桁 (右詰・前 0)

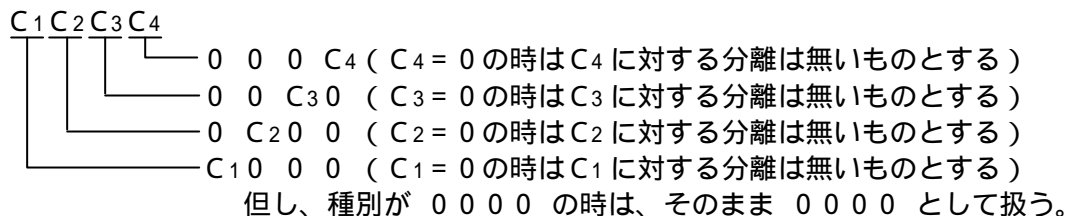
備 考	【参考情報】（文献種別；文献名 例）	
	N 1 ; 公開技報	<u>J P N 1 0 0 1 0 0 0 0 0 1</u>
	N 2 ; 抽出論文	<u>J P N 2 0 0 1 0 0 0 0 0 1</u>
	N 3 ; 異議申立	<u>J P N 3 0 0 1 0 0 0 0 0 1</u>
	N 4 ; 引用非特許	<u>J P N 4 0 0 1 0 0 0 0 0 1</u>
	N 5 ; N P L	<u>J P N 5 0 0 1 0 0 0 0 0 1</u>
	N X ; Elsevier 番号	<u>J P N X 0 0 1 0 0 0 0 0 1</u>
N x ; 非特許 C S D B	<u>C S N A 2 0 0 1 0 0 0 0 1 0 0 1</u>	
	x ; 英字 1 桁	

整理標準化 データ コード表	コード内容説明表	コード INDEX	B 0 3 1 0	VER	3 . 0
----------------------	----------	--------------	-----------	-----	-------

種別に対する意味の見方

各要素間の分離

種別の各要素を下記に従い分離する。



上記基準により分離されることにより1つの種別が複数の種別となり複数の意味を持つことになる。

1つの要素内の分解

で分離された各種別の C_n を各々下記基準に従い分解する。

0	0	8	8
1	1	9	1, 8
2	2	A	2, 8
3	1, 2	B	1, 2, 8
4	4	C	4, 8
5	1, 4	D	1, 4, 8
6	2, 4	E	2, 4, 8
7	1, 2, 4	F	1, 2, 4, 8

上記基準により分解されることにより1つの要素が複数の要素となり複数の意味を持つことになる。

及び で分離、分解した各種別、各要素をコード記号として対応する意味をコード表より探す。

【具体例】

商標 出願種別 (0 0 0 0) の場合

- より「0 0 0 0」 「0 0 0 0」として扱う
- より「0 0 0 0」 「0 0 0 0」の1つの意味を持つ
- (コード表C 0 0 2 0)より「0 0 0 0」 「通常」
- 出願種別 (0 0 0 0) は「通常」の意味を示していることとなる

特許 出願種別 (0 0 0 A) の場合

- より「0 0 0 A」 「0 0 0 A」となる
- より「0 0 0 A」 「0 0 0 2」、「0 0 0 8」の2つの意味を持つ
- (コード表C 0 0 2 0)より「0 0 0 2」 「併合」
- (コード表C 0 0 2 0)より「0 0 0 8」 「変更」
- 出願種別 (0 0 0 A) は「併合、変更」の意味を示していることとなる

意匠 出願種別 (0 0 4 4) の場合

- より「0 0 4 4」 「0 0 0 4」、「0 0 4 0」に分離される
- より「0 0 0 4」 「0 0 0 4」の1つの意味を持つ
- より「0 0 4 0」 「0 0 4 0」の1つの意味を持つ
- (コード表C 0 0 2 0)より「0 0 0 4」 「分割」
- (コード表C 0 0 2 0)より「0 0 4 0」 「類似」
- 出願種別 (0 0 4 4) は「分割、類似」の意味を示していることとなる